

# 実施計画書 兼 事業説明書

## 【政策 1：子育て・教育】

### 心豊かで自立できる人が育つまち

【施策1-1】 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

【施策1-2】 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体（みんな）で取り組みます

【施策1-3】 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

【施策1-4】 かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

【施策1-5】 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

【施策1-6】 市民の人権意識を高めます



## ◆ミッション

明治時代から受け継がれてきた「梅花教育」や、小諸の豊かな自然・歴史・文化といった財産や、医療・福祉などの子育て・教育に適した環境をフルに活用して、小諸ならではの子育てや生涯にわたり学びが実践できる環境を整える。

◎子どもたちの「生きる力」の育成を図る。

◎教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。

◎地域総ぐるみで子どもたちを育成する取り組みを推進する。

◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。

◎かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用する。

◎スポーツ振興を図るとともに、高地トレーニングがまちづくりにつながるよう取り組みの展開を図る。

◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図る。

## ◆方 針

◎子どもたちの「生きる力」の育成を図る。

子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高め、基礎学力の向上とともに、問題解決的な学習を通して、自ら考え行動できる力の育成を図り、すべての学びの場を通して「自己肯定感」の育成に努める。そして、「確かな学力」と「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である『生きる力』の育成を図る。

◎教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。

子どもたちの学びを適切に支えるため、施設・設備の整備・充実とともに、一人ひとりの学びに応じた人的体制の充実を図る。施設・設備面では、長期学校改築計画の策定、施設の長寿命化対策の推進、ICT環境の充実、保育園の再配置計画の策定等に取り組む。また、人的な面では、子育て・教育における課題の解決に向けて、時宜に応じた配置や充実に努める。

◎地域総ぐるみで子どもたちを育成する取り組みを推進する。

学校と家庭、地域、関係機関等との連携による信州型コミュニティスクールを推進するほか、子どもたちの健全育成と安全・安心の確保に向けて、地域総ぐるみでの取り組みの強化を図る。また、安心して子育てができるよう、各年齢段階に応じたサービスの充実に努めるとともに、多様な子育てニーズに応えるため、各種事業のさらなる充実を図る。

◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。

生涯を通じた学びが広がり、生きがいがづくりにつながるよう、小諸ならではの様々な資源を活かしながら、学習環境の整備、生涯学習機会の創出を図り、市民の主体的な学びを促進する。また、まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」の実現に向け、各種事業の充実を図る。

◎かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用する。

ふるさと「小諸」のかけがえのない文化財の保存・継承・活用等に取り組むとともに、歴史的な資料や古文書の収集・保存・研究等を一体的に進める。また、小諸の誇りを認識し、ふるさとを愛し大切に思う心を育むため、小諸の歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。

◎スポーツ振興を図るとともに、高地トレーニングがまちづくりにつながるよう取り組みの展開を図る。

多様化するスポーツニーズへの対応に努めるとともに、統廃合を含め施設の適切な整備を図る。また、高地トレーニングで小諸を訪れるアスリートと市民との交流事業等を進め、競技へのきっかけの場やまちの活性化、健康づくりへの展開につなげる。

◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図る。

一人ひとりの人権が尊重され、大切にされる社会の実現に向け、保育園、小・中学校をはじめ、家庭、地域、企業等で、人権意識の啓発・人権同和教育を積極的に進める。また、教育・啓発活動とともに、市民の交流の機会の創出、相談体制の充実等を図る。

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-1	教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

所 管	学校教育課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動できるような「生きる力」を育むため、豊かな心と健やかな体の育成・基礎学力の向上・子どもの学びを支える教育環境の整備などに取り組んでいる。

喫緊の課題としては、学校改築・再編方針に基づく「長期学校改築計画」の早期策定であり、長期的視点に立った学校の適正規模・配置について検討し、統廃合も含め、学校教育審議会による議論を進める。

また、学校現場で質の高い指導が行われるためには、「教職員の働き方改革」を推進し、教職員が子どもと向き合う時間を確保することが課題となっている。不登校やいじめの改善に向けた継続的な支援等についても、さらなる取り組みが必要である。

#### ◆方針

目的
<p>子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高め、基礎学力の向上とともに、問題解決的な学習を通して、自ら考え行動できる力の育成を図り、すべての学びの場を通して「自己肯定感」の育成に努める。そして、「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である「生きる力」の育成を図る。</p> <p>子どもたちの学びを適切に支えるため、施設・設備の整備面では、長期学校改築計画の策定、施設の長寿命化対策の推進、ICT環境の充実等に取り組む。また、一人ひとりの学びに応じた人的体制の充実を図る。</p>

#### ◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・具体的な再編方法等を検討している「学校教育審議会」からの答申を基に作成した、「学校再編(案)」の住民合意を図り、次のステージ(基本構想策定)へと移行する。
- ・学校施設長寿命化計画に基づき、施設や設備の長寿命化を計画的に進めるとともに、子どもたちの学習習慣・生活習慣の形成への支援、不登校未然防止の取り組みのほか、教員の資質向上や働き方改革の推進など「学びを支える体制づくり」を進める。
- ・小学校の「英語教科化」をはじめ「ICT教育」など、新学習指導要領への対応、環境整備を継続し学校現場への定着を図る。

#### ◆目標

##### ・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①豊かな心と健やかな体が育成され、基礎学力が向上し、子どもの学びを支える教育環境が構築された状態。</p> <p>②学びに対する意欲や喜びが高まり、「生きる力」が育成された状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	全国学力状況調査(小・中学校の全国平均値との対比)						
設定理由	全国学力状況調査の結果が向上すれば、「学力」の習得の度合いが向上したと考えられるから。						
算式	※小:小学6年生・中:中学3年生の調査結果					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小93.5 中98.1	計画	小100 中100	小100 中100	小100 中100	小100 中100	
		実績					
指標名	全国体力状況調査(小・中学校の全国平均値との対比)						
設定理由	全国体力状況調査の結果が向上すれば、「体力」が向上したと考えられるから。						
算式	※小:小学5年生・中:中学2年生の調査結果					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小97.3 中93.4	計画	小100 中100	小100 中100	小100 中100	小100 中100	
		実績					
指標名	学校へ行くことを楽しいと思っている児童・生徒の割合						
設定理由	上記指標の値が向上すれば、子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」が高まり、「生きる力」の育成につながると考えられるから。						
算式	※小:小学6年生・中:中学3年生の調査結果					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小88.2 中76.0	計画	小88 中76	小88 中76	小88 中76	小88 中76	
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・「学校教育審議会」からの答申に基づき、学校再編計画を着実に進め、併せて小中一貫教育の推進を図る。
- ・学校施設の長寿命化に向けた改修を計画的に進める。
- ・多様なニーズや学校運営上の諸課題への支援を継続し、「学び」を支える体制づくりを進める。
- ・教員の指導力向上を図るとともに、新学習指導要領など学校教育の変化に対応した授業づくりや教員の働き方改革を推進するため、教育現場のICT化を進める。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール4「質の高い教育をみんなに」  
 明治から受け継がれてきた「梅花教育」の精神のもと、新学習指導要領が求める主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)の充実に向けて、教職員の教育観を高め、指導力を向上させるための研修を進めるとともに、児童・生徒に一人1台配備する情報端末を有効活用することにより、学習の質の向上と効率化を図る。  
 また、児童・生徒一人ひとりを支えるうえで必要な人材を配置することにより、個に応じた多様な学びの実現を支援する。

◆個別計画

教育振興基本計画／小中学校ICT環境整備計画／学校施設長寿命化計画

◆特記事項

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
教育委員会運営費		継続	24		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無		
事業概要	【運営費】 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育委員会の運営				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	3,338 千円	3,338 千円	3,338 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	3,338 千円	3,338 千円	3,338 千円	
目的	教育の機会均等及び教育水準の維持向上を図るとともに、地域の実情に応じた教育振興施策を講じる				
令和3年度の目標					
定例会のほか事前研究・研修会を実施し委員会機能を強化する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	定期的な教育委員会の開催	回	12	12	12
	事前研究会・研修会の開催	回	12	12	12
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
姉妹都市教育委員等連携事業		継続	20		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無		
事業概要	子どもたちが他地域の文化に触れる機会を確保するため交流事業を支援する				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	760 千円	750 千円	700 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	30 千円	30 千円	30 千円	
	一般財源	730 千円	720 千円	670 千円	
目的	姉妹都市との交流を通じて他地域の文化や生活に触れる機会の創出				
令和3年度の目標					
児童・生徒の体験交流事業として、自立した滑川市との交流(小学生)、中津川市との交流(中学生)を継続実施する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	サマー・サイエンススクールの参加人数	人	3	3	3
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
事務局運営費		継続	25		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無		
事業概要	【運営費】 ・施策推進のための事務局運営費				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,162 千円	1,162 千円	1,162 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	1,162 千円	1,162 千円	1,162 千円		
目的	各施策推進のため適正な執行を進める				
令和3年度の目標					
事業の選択と集中を行うとともに、事務局内の横の連携を密に図ることで、効率的かつ効果的な組織運営を図る。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
学校運営費		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課	1:無		
事業概要	【運営費】 ・小中学校運営の支援 ・特色ある学校運営を推進するための補助金の交付 ・教職員の資質向上を図るための補助金の交付 ・小中学校の給食食材の放射性物質測定の実施と結果の公表 ・小学校の英語教科化に伴う効果的な英語教育の実践と中学校の英語教育との連携を強化する取り組みを進める				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	58,651 千円	61,000 千円	61,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	1,450 千円	1,450 千円	1,450 千円		
一般財源	57,201 千円	59,550 千円	59,550 千円		
目的	小中学校において、子どもの「学ぶ環境」の整備を図るとともに、適切に学校運営ができるよう支援する 小学校低学年から英語に触れる環境の形成、中学校での英語教育の高度化、教職員の指導力向上など、英語教育全体の充実を図る				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の働き方改革についての研究及び教職員の負担軽減の取り組みを継続する。</li> <li>・全小中学校で月1回行う放射性物質検査の検査結果をホームページ等で公表する。</li> <li>・英語教育において新学習指導要領にもとづき、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する取り組みを進める。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項	「自分の考えを深めることが出来た」と答えた児童の割合	%	78	79	80
	「お互いの意見を生かし解決方法を定める」と答えた生徒の割合	%	63	64	65
特記事項	・10-1-2-3学校給食食材放射性物質測定事業と、10-1-2-4英語教育推進事業を統合				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
長期学校改築計画策定事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課	2:有		
事業概要	市内小中学校のあり方について、小諸市長期学校改築検討会において「たたき台」を作成し、小諸市学校教育審議会の答申を受け、さらに検討を加え「小諸市長期学校改築計画」を策定する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	984 千円	0 千円	0 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	984 千円	0 千円	0 千円		
目的	児童・生徒数の減少、校舎の老朽化、厳しい財政状況・今後の教育のあり方等の検討を踏まえた「小諸市長期学校改築計画」を策定する				
令和3年度の目標					
「小諸市学校教育審議会」の答申を受け、市民説明会等を経て再編計画を盛り込んだ長期学校改築計画を策定する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	審議会の開催	回	5	0	0
特記事項	長期学校改築説明会(市民懇談会)の開催	回	10	0	0
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小学校管理費運営費		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無		
事業概要	【運営費】 ・小学校の管理・運営 ・臨時職員の任用 ・関係団体・事業への負担金交付 ・傷害保険の給付 ・小学校における児童・教職員を対象とした各種健診・検査の実施				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	147,663 千円	158,000 千円	158,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	2,260 千円	2,260 千円	2,260 千円		
一般財源	145,403 千円	155,740 千円	155,740 千円		
目的	小学校の管理・運営に必要な備品等の調達など、児童の学習環境を整備する 児童・教職員の健康管理を行うとともに、傷害保険給付により保護者の負担軽減を図る				
令和3年度の目標					
・全小学校においてCRT検査を実施し学力向上につなげる。 ・QU検査またはハイパーQU検査を実施し、学級の状態の把握と今後の学級経営の方針を把握する。 ・備品の適性な管理を行う。・保護者の負担軽減を図るため、適正に傷害保険給付を行う。 ・学校保健法等の改正に伴う検査内容について、養護委員会、小諸北佐久医師会と連携し適切に実施する。 ・労働安全衛生法の改正に伴うストレスチェックを全校で実施するか検討する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	災害共済給付金の申請件数	件	230	220	210
特記事項	・10-2-1-5小学校保健事業を統合				



政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小学校施設維持管理事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無		
事業概要	・小学校施設を維持管理するための保守点検、修繕、営繕工事など				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	37,180 千円	35,000 千円	35,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	30 千円	30 千円	30 千円		
一般財源	37,150 千円	34,970 千円	34,970 千円		
目的	小学校施設を適切に維持・管理するため保守点検、修繕、営繕工事を行い、児童の学習環境を整備する				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度策定の「学校施設長寿命化計画」に基づき、特に緊急性の高いもの及び安全に係る案件に限定し対応する。</li> <li>・保守点検等により修繕の必要なものについては緊急性の高いものから実施していく。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	施設の長寿命化に繋がる改修件数	件	1	1	1
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小学校給食運営事業		継続	15		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	2:有		
事業概要	自校方式で学校給食を提供する				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	82,551 千円	85,000 千円	85,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	82,551 千円	85,000 千円	85,000 千円		
目的	安全で美味しい学校給食を提供するとともに、食育を推進する				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の取組みについて、保護者などへの市民周知を引き続き行う。</li> <li>・アレルギー対応に関するマニュアル等の検証を行い、適宜改定を行う。</li> <li>・調理従事員研修会については、県教育委員会職員等外部から講師を招くなど、内容を充実させる。</li> <li>・調理業務委託を見据え、各役割分担の明確化と、衛生等マニュアルの整備を行う。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	一人当たりの給食残食量(g/年)	g	650	600	550
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小学校教育振興支援事業		継続	18		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費		学校教育課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「きらら会」による小学5年生を対象とした体験授業の開催</li> <li>・小学校の理科教育備品の整備</li> <li>・遠距離通学児童の保護者に対する補助金の交付</li> <li>・要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給</li> <li>・特別支援教室に通う児童の保護者に対する就学奨励費の支給</li> <li>・小学校低学年時の学習習慣形成と集団生活の中での生活習慣の形成</li> </ul>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	42,648 千円	40,000 千円	40,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	1,232 千円	1,200 千円	1,200 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	41,416 千円	38,800 千円	38,800 千円		
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術体験を通じて豊かな感性を養う</li> <li>・特別な配慮や支援を必要とする児童、保護者に対して支援を行う</li> </ul>				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領の実施により新たな理科用備品の整備が必要となるため、学校現場のニーズを把握し、事業が円滑に実施できるよう引き続き事務を行う。</li> <li>・就学援助費については、学校との密な連携から対象者を確実に把握し、交付要件を確認したうえで適切に交付する。</li> <li>・支援教員の資質向上のための研修会を実施する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	支援教員への研修回数	回	5	5	5
特記事項	・10-2-2-3小学校教育支援事業を統合し、事務事業名を小学校教育振興支援事業に変更。				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小学校ICT教育推進事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費		学校教育課	2:有		
事業概要	・1人1台のパソコンを活用した情報教育の推進と環境の整備				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	14,386 千円	14,300 千円	14,300 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	14,386 千円	14,300 千円	14,300 千円		
目的	・情報通信技術を活用した教育環境の整備のほか、児童が情報に正しく向き合い、適切に利用できる力を育む。				
令和3年度の目標					
令和2年度において整備が完了した1人1台の情報端末を活用した授業の実施のため、必要な機器、ソフトウェア等の導入を検討する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	パソコンを活用した授業時間の割合	%	10	20	30
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
中学校管理費運営費		継続	8		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無		
事業概要	<b>【運営費】</b> ・中学校の管理・運営 ・臨時職員の任用 ・関係団体・事業への負担金交付 ・傷害保険の給付 ・中学校における生徒・教職員を対象とした各種健診・検査の実施				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	69,862 千円	80,000 千円	80,000 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	2,550 千円	2,510 千円	2,510 千円	
	一般財源	67,312 千円	77,490 千円	77,490 千円	
目的	中学校の管理・運営に必要な備品等の調達など、児童の学習環境を整備する 児童・教職員の健康管理を行うとともに、傷害保険給付により保護者の負担軽減を図る				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な教材・教具を整備する。</li> <li>備品の適切な管理を行う。</li> <li>保護者の負担軽減を図り、適正に傷害保険給付を行う。</li> <li>学校保健法等の改正に伴う検査内容について、養護委員会、小諸北佐久医師会と連携し適切に実施する。</li> <li>労働安全衛生法の改正に伴うストレスチェックを全校で実施するか検討する。(現時点では小諸東中のみ実施しているが、全校で行うことが努力義務となっているため。)</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	災害共済給付金の申請件数	件	230	220	210
特記事項	・10-3-1-5中学校保健事業を統合				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
中学校施設維持管理事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無		
事業概要	・中学校施設を維持するための保守点検、修繕、営繕工事など				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	21,612 千円	250,000 千円	250,000 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	66,666 千円	66,666 千円	
	地方債	0 千円	119,900 千円	119,900 千円	
	その他	200 千円	200 千円	200 千円	
	一般財源	21,412 千円	63,234 千円	63,234 千円	
目的	中学校施設を適切に維持・管理するため保守点検、修繕、営繕工事を行い、生徒の学習環境を整備する				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度策定の「学校施設長寿命化計画」に基づき、当面は建築後概ね30年が経過した小諸東中学校の長寿命化のための改修工事を優先して進める。</li> <li>保守点検等により修繕の必要なものについては緊急性の高いものから実施していく。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	施設の長寿命化に繋がる改修件数	件	1	1	1
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
中学校給食運営事業		継続	16			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	2:有			
事業概要	自校方式で学校給食を提供する					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	36,189 千円	40,000 千円	40,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	36,189 千円	40,000 千円	40,000 千円			
目的	安全で美味しい学校給食を提供するとともに、食育を推進する					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の取組みについて、保護者などへの市民周知を引き続き行う。</li> <li>・アレルギー対応に関するマニュアル等の検証を行い、適宜改定を行う。</li> <li>・調理従事員研修会については、県教育委員会職員等外部から講師を招くなど、内容を充実させる。</li> <li>・調理業務委託を見据え、各役割分担の明確化と、衛生等マニュアルの整備を行う。</li> </ul>						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	一人当たりの給食残食量(g/年)	g	350	300	250	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
中学校教育振興支援事業		継続	19			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の外部指導者として市内の人材を活用した際の当該指導者に対する謝礼の支払い</li> <li>・中学校の理科教育備品の整備</li> <li>・遠距離通学生徒の保護者に対する補助金の交付</li> <li>・要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給</li> <li>・特別支援教室に通う生徒の保護者に対する就学奨励費の支給</li> <li>・アメリカ合衆国ミシガン州ホランドのホープカレッジへの中学生の派遣</li> </ul>					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	23,991 千円	24,000 千円	24,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	1,163 千円	1,034 千円	1,034 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	22,828 千円	22,966 千円	22,966 千円			
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動支援を行う ・理科教育備品の充実を図る</li> <li>・特別な配慮や支援を必要とする生徒、保護者に対して支援を行う</li> <li>・小諸市と歴史的につながりのある海外都市(大学)との交流を通じて、グローバル社会に適應できる人材を育成する</li> </ul>					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場のニーズを把握し、事業が円滑に実施できるよう引き続き事務改善を検討する</li> <li>・部活動指導員の活用内容を検証し、適正な活用を図る</li> <li>・就学援助費については、学校との密な連携から対象者を確実に把握し、交付要件を確認したうえで適切に交付する</li> <li>・中学生英語(イングリッシュセミナー)及び海外派遣の継続実施</li> </ul>						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	英語指導として、英語で発表する言語活動をした割合	%	100	100	100	
特記事項	支援教員への研修回数	回	5	5	5	
	・10-1-1-5中学生海外文化語学学習事業及び10-3-2-3中学校教育支援事業を統合し、事務事業名を中学校教育振興支援事業に変更。					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
中学校ICT教育推進事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費		学校教育課	2:有		
事業概要	・1人1台のパソコンを活用した情報教育の推進と環境の整備				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	8,416 千円	8,400 千円	8,400 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	8,416 千円	8,400 千円	8,400 千円		
目的	情報通信技術を活用した教育環境を整備し、生徒の操作技術の向上や情報モラルへの指導を行う				
令和3年度の目標					
令和2年度において整備が完了した1人1台の情報端末を活用した授業の実施のため、必要な機器、ソフトウェア等の導入を検討する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	パソコンを活用した授業時間の割合	%	20	30	40
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
奨学費運営費		継続	23		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小諸市奨学金審査会の運営</li> <li>・小諸市大津秀子奨学基金、小諸市あさま奨学基金の運用管理</li> </ul>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	313 千円	313 千円	313 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	313 千円	313 千円	313 千円		
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	家庭的、経済的な理由により就学が困難な生徒・学生に対して奨学金を貸与及び給付を行い、就学機会の拡大を図る				
令和3年度の目標					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
奨学費貸付事業		継続	-		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無		
事業概要	小諸市大津秀子奨学金の貸付と返済受納				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	6,060 千円	7,860 千円	7,860 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	6,060 千円	7,860 千円	7,860 千円	
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	家庭的、経済的な理由により就学が困難な大学進学希望者に対して奨学金を給付し、就学機会の拡大を図る				
令和3年度の目標					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
奨学費給付事業		継続	21		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無		
事業概要	小諸市あさま奨学金の給付				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,880 千円	3,840 千円	5,760 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	2,880 千円	3,840 千円	5,760 千円	
一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	家庭的、経済的な理由により就学が困難な大学進学希望者に対して奨学金を給付し、就学機会の拡大を図る				
令和3年度の目標					
他の奨学金との併給を可能とすることと判定要件を緩和することにより、受給者を4名に拡大する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特記事項					

事務事業名				新規・継続
小学校管理費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費				学校教育課
投入指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		84,603 千円	85,000 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		84,603 千円	85,000 千円	
事務事業名				新規・継続
中学校管理費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費				学校教育課
投入指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		30,980 千円	31,000 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		30,980 千円	31,000 千円	
事務局給与費				新規・継続
会計・款・項・目				継続
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費				学校教育課
投入指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		149,935 千円	149,935 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		149,935 千円	149,935 千円	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1ー2	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

所 管	子ども育成課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

少子化、核家族化の進行や、地域の人と人とのつながりの希薄化、共働き家庭の増加など、子どもと子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化している。これに伴って、子育てに関するニーズが増大するとともに多様化が進み、その対応が求められている。

今後も少子化が進行する中、将来にわたってより良い保育環境が提供できるよう、ニーズにあった多様な保育の充実と、需要を満たす教育・保育施設の受け入れの確保、増加傾向にある特別な教育的ニーズのある子どもへの適切な支援、また社会問題となっている児童虐待の防止対策などが課題となっている。

#### ◆方針

目的
<p>家庭における子育ての負担や不安、孤立化を和らげ、安心して子育てができる環境づくりを、行政だけでなく、家庭ですべきこと、地域で支え合えることなど役割分担をしながら社会全体(みんな)で取り組む。</p> <p>ファミリーサポートセンターや病児保育事業など多様な保育を充実するとともに、保育園においては、私立と連携しながら需要に対応する受け入れを確保し、また効率的に施設運営を継続するため、保育園の再配置計画の策定を進める。特別な教育的ニーズのある子どもに対しては、自立と社会参加に向けた支援を行う。児童虐待の対応においては、関係機関が連携して発生予防、早期発見、発生時の迅速な対応・支援を行う。</p>

#### ◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・統合新保育園の建設をスケジュール通り進め、令和4年4月に芦原と中央保育園からスムーズに移行し開園できるよう準備を進める。
- ・「病児病後児保育施設」を計画どおり複合型中心拠点誘導施設の開設時に開始する。
- ・「ファミリーサポートセンター」は社会福祉協議会と連携し、複合型中心拠点誘導施設へ移設後も継続して会員の拡大・育成を進め事業の充実を図る。
- ・保育所給食の調理業務を委託業者へスムーズに移行し、適正に調理業務が実施されるよう進める。
- ・増加傾向にある特別な教育的ニーズのある子どもに対応できる教育相談体制を確保する。

#### ◆目標

##### ・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①社会全体(みんな)の取り組みによって、安心して子育てができる環境が充実した状態。</p> <p>②特別な教育的ニーズのある子どもが、周囲に理解されながら有効な支援をうけることにより、状況の改善や生活力の向上が図られ、より良い成長が促される状態。</p> <p>③児童虐待においては、関係機関が児童等に関する情報や支援方針を共有し的確な対応を行うことにより、子どもが適切な養育を受けられる状態。</p>



◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	子育てしやすい環境づくりに対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	子どもが心身ともに健やかに育つために、安心して子育てができる環境が必要であるから。						
算式	市政への満足度(1)子育てしやすい環境づくり 満足+やや満足+普通の合計					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	55.8	計画	56.5	57.0	57.5	58.0	
		実績					
指標名	要保護児童対策地域協議会の進行管理ケースの中で支援が終了したケースの割合						
設定理由	児童虐待があった、また、そのリスクの高い家庭を積極的に支援し、児童等の適切な養育につなげるため。						
算式	年度内の進行管理件数のうち、支援を終結した件数の割合					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	19	計画	20	20	20	20	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・統合新保育園の整備を計画通り進め、令和4年度に開園する。
- ・少子化の中、将来にわたってより良い保育環境を維持するため、保育園の再配置計画の策定に着手する。
- ・子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援の各種事業を進めながら、保護者の要望に応える事業がさらに充実するよう努める。
- ・保育所給食は委託後の調理業務を適正に評価し、安心安全な心のこもった給食の提供を継続する。
- ・支援が必要な子どもを早期に発見し、専門的な教育相談が受けられるよう医療、保健、福祉との連携を深める。また保育園や学校での生活において必要な支援が効果的、効率的に実施できるよう支援をするとともに、そこに携わる指導者の資質向上に努める。
- ・児童虐待の発生予防、早期発見、発生時の迅速・的確な対応を行うための関係機関との連携を強化する。
- ・学校、家庭、教育支援センターと連携し、不登校の防止と改善に向けて支援を継続的に進める。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール4 「質の高い教育をみんなに」  
 子どもの心身の成長が著しい幼児期、学童期に、良質な教育・保育を確保し、心豊かでたくましく生き抜く力を持つ自立した人を育てる。

ゴール16 「平和と公正をすべての人に」  
 障がいや児童虐待などで支援を必要とする子どもや家庭へ、関係機関が連携して支援を行い、適切な養育を受け、子どもの健やかな成長・発達や自立等を保障する。

◆個別計画

教育振興基本計画／子ども・子育て支援事業計画／地域福祉計画・地域福祉活動計画

◆特記事項

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
保育所運営事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	2:有			
事業概要	保護者の就労等により、保育が必要な子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、養護の行き届いた環境を整え、公立保育園を運営する。					
投入指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費		428,038 千円	461,000 千円	482,000 千円	
	特定財源	国・県支出金	670 千円	670 千円	670 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	24,728 千円	24,500 千円	24,500 千円	
一般財源		402,640 千円	435,830 千円	456,830 千円		
目的	子育て世帯が安全に通園させられる保育の場を提供して、保護者が安心して子育てのできる環境にするため。入所する子どもに、乳幼児期にふさわしい生活の場を提供し子ども主体の保育を行い、保護者とともに子どもたちを心身ともに健やかに育てる。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援事業計画に沿った事業等を遂行する。</li> <li>保育所の安全対策を徹底する。</li> <li>保育所給食調理業務委託について、適切でスムーズな移行を図り、同時に委託仕様書等に準じた適正な評価を実施する。</li> <li>新型コロナウイルス感染症予防を徹底しながら保育所運営を行う。</li> <li>これまで、委託による運動保育士の実践が主で職員がサポートする体制であったが、今後は職員自らが経験や学んできたスキルを活かし運動遊びを継続的に進めていく。</li> </ul>						
活動目標	指標名		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	待機児童数		人	0	0	0
特記事項	保育所の運営について、施設の老朽化や統廃合、民営化などの課題がある。社会環境の変化により、3歳未満児の入所ニーズが増えており、保育士不足が懸念される。					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
子ども・子育て支援事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	2:有			
事業概要	子どもの成長支援・子育て世帯への支援の総合的な展開を「子ども・子育て支援新制度」により図る。就労前の子育て支援に関する事業(私立保育園、認定こども園、家庭的保育事業等)を統合的に所管し、新制度による認定給付システムの運用をスムーズに実施する。					
投入指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費		620,802 千円	620,802 千円	620,802 千円	
	特定財源	国・県支出金	425,403 千円	425,403 千円	425,403 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	20,032 千円	20,032 千円	20,032 千円	
一般財源		175,367 千円	175,367 千円	175,367 千円		
目的	法律に従った子育て支援の事業・給付を適切に提供し、子育て世帯への支援を行い子どもの健全な成長を保障する環境を整備する。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援事業計画に沿って、事業等を確実に運用、運営する。</li> <li>複合施設内に設置する病児病後児保育事業について、関係者との連携を図り適切な準備を進める。また、開設後は、適切な評価と改善を行う。</li> <li>ファミリーサポートセンター事業について、これまでの事業実績を踏まえ、複合施設内への移設後も、さらに市民ニーズを捉えた事業展開を行う。</li> </ul>						
活動目標	指標名		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	新制度利用の申請率		%	100	100	100
特記事項	待機児童数		人	0	0	0

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
保育所建設事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	2:有		
事業概要	現在7園ある公立保育園の中でも、建設から約40年が経過し、老朽化が著しく進行している「芦原保育園」と「中央保育園」について、将来的な子どもの減少及び効率的な保育園運営のため、利用していない南城公園50mプールの場所に統合園を建設する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	527,773 千円	28,262 千円	0 千円	
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	464,000 千円	28,262 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	63,773 千円	0 千円	0 千円		
目的	子育て世帯が安全に通園させられる保育の場を提供し、また保護者が安心して子どもを預けられる環境を整えるため。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新保育園の令和4年度開園に向け、園舎建設工事を進める。</li> <li>・建設工事に併せて、新保育園の建設状況などについて情報提供や見学の機会などを設ける。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	待機児童数	人	0	0	0
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
私立幼稚園補助事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		子ども育成課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園運営補助金の交付</li> <li>・私立幼稚園保護者への幼児教育保育無償化に伴う保育料等の交付</li> </ul>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	87,845 千円	87,845 千円	87,845 千円	
	特定財源 国・県支出金	62,836 千円	62,836 千円	62,836 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	25,009 千円	25,009 千円	25,009 千円		
目的	安心して子育てができる環境整備の一環として、補助金を交付することにより幼稚園運営や就園家庭を支援し、幼児教育の推進を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正に補助金を交付する。</li> <li>・新制度導入に併せて教育行政が担うべき幼児期の教育へ負担金を交付する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	該当件数に対する補助金交付件数の割合	%	100	100	100
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
子どもセンター運営事業		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の子育て環境の向上のため親子が安心して過ごすことのできる施設運営</li> <li>・子育てについて情報を発信し、必要な育児相談を日常的に実施</li> <li>・放課後の児童生徒の安全対策、健全育成のための施設運営</li> </ul>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	27,187 千円	23,435 千円	23,589 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	5,434 千円	5,434 千円	5,434 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	14 千円	60 千円	60 千円	
	一般財源	21,739 千円	17,941 千円	18,095 千円	
目的	乳幼児子育て保護者の孤立化などにより十分な育児ができない状況が見受けられるため、子育て環境充実のため施設サービスを提供し、家庭での安定した育児を支援する。また放課後に児童が安全安心で過ごすことができる居場所を提供し健全な育成を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者がサービスを必要としたときに選択肢の一つとして検討できるよう、周知活動を積極的に行う。</li> <li>・実施している施設サービス・事業などについて、各種事業のこれまでの参加人数や参加者の評価等を踏まえ、改善を進める。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	出生届け時・小学校入学説明会での案内配布率	%	100	100	100
特記事項	利用者数	人	10,000	10,000	10,000
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
児童クラブ運営事業		継続	12		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が、就労等により保育を必要とする児童に対し、放課後の安全確保と、保護者に代わり健全な育成を図る施設の運営</li> </ul>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	13,963 千円	13,622 千円	13,726 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	5,278 千円	4,950 千円	4,950 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	3,000 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	5,685 千円	8,672 千円	8,776 千円	
目的	子育て環境充実のため、放課後の児童生徒が安全安心に生活できる居場所を提供し、健全な育成を図るとともに、就労している保護者の負担を軽減させる施設サービスを提供する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども子育て支援事業計画に沿った運営を行う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染防止のための分散保育に係る施設や職員の確保を行う。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	該当小学校における新入学児童の保護者説明会の実施割合	%	100	100	100
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
児童施設運営事業		継続	11		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課	1:無		
事業概要	・児童に健全な遊びを通して、その健康を増進し、情操を豊かにする児童館の運営				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	34,430 千円	35,952 千円	36,226 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	2,570 千円	2,700 千円	2,700 千円		
一般財源	31,860 千円	33,252 千円	33,526 千円		
目的	・18歳未満のすべての子どもを対象に、遊び及び生活の援助や地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成することを目的とする。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども子育て支援事業計画及び新制度に沿った施設運営を行う。</li> <li>・計画的に職員配置・施設改修などを進める。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら施設の運営を行う。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	該当小学校の新入学児童に対する保護者説明会の実施割合	%	100	100	100
特記事項	利用者数	人	80,000	80,000	80,000
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
子ども家庭支援事業		継続	8		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有		
事業概要	・児童福祉の充実と養育や家庭の経済状況等の様々な問題からくる、児童の家庭環境の整備や支援と相談を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,482 千円	2,600 千円	2,700 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	38 千円	38 千円	38 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,444 千円	2,562 千円	2,662 千円		
目的	子どもの置かれている家庭状況等を的確に捉え、子どもや家庭に最も効果的な援助が行なえるように、関係機関と連携して相談や支援を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関や学校・幼稚園・保育園・児童館と連携して、きめ細かい家庭相談と支援ができる体制を引き続きつくる。</li> <li>・保健師等専門職や児童館・保育園等と定期的な情報交換の場を設け、ハイリスク家庭の情報を共有し虐待等に繋がる不安要素を全体で共有し対応する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	家庭児童相談員の関わるハイリスク家庭の支援会議数	数	10	10	10
特記事項	(R元)関係機関との連携により早期からの支援が可能となり、結果としてハイリスクな支援対象者が減少したと推測される。				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
特別支援教育等推進事業		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮を要する児童・生徒への適切な就学指導及び教育的支援を行う。</li> <li>・学校運営を補助し、特別支援学級に在籍する児童生徒や配慮を要する児童生徒への支援を行うために支援員を配置する。</li> <li>・支援員や特別支援教育に関わる先生等のスキルアップや指導者となっていけるようにするため、研修や講演会等を実施する。</li> </ul>					
投入指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費		44,596 千円	48,000 千円	52,000 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		44,596 千円	48,000 千円	52,000 千円		
目的	特別な教育的ニーズのある子どもに対し、必要な支援が適切に行える環境を整備する。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な児童生徒への支援体制を学校と協議を行い、効果的・効率的な支援体制に資する支援員の配置を行う。</li> <li>・子どもの状況を学校と情報共有し、特別支援コーディネーターや教育支援センター、相談員、その他関係機関と連携し、子どもを中心とした支援が行えるようにする。</li> <li>・支援員や特別支援教育に関わる教員等の資質向上のため、研修等を行う。</li> </ul>						
活動目標	指標名		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	支援員の配置数		数	21	21	21
特記事項	校内支援委員会に教育委員会が関わった回数		回	140	140	140
	(R3)特別支援教育等推進事業に就学指導支援事業を統合した。					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
教育支援センター等運営事業		継続	6			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児、児童及び生徒に関する教育相談並びに不登校改善等の教育的支援を行う。</li> <li>・支援の拠点となる教育支援センターを設置運営するとともに、中学生の集団不応や不登校への支援のために不登校支援講師を学校に配置する。</li> </ul>					
投入指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費		20,710 千円	21,500 千円	22,300 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		20,710 千円	21,500 千円	22,300 千円		
目的	様々な原因により集団生活への不応や不登校となっている児童生徒の課題の改善を図るために、教育相談や自立に向けた教育支援等を行う。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通室している不登校児童生徒の学習、生活支援、適応指導を行い、在籍校及び進学校復帰への支援を行う。</li> <li>・長期欠席による家庭内引きこもりの児童生徒に対し、家庭及び学校等と連携を図り登校支援等を行う。</li> <li>・集団生活への不応等悩みを抱えている児童・生徒・保護者・担任等からの相談に乗り、教育的支援が受けられるよう関係機関と連携して対応していく。</li> </ul>						
活動目標	指標名		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	センター職員による相談訪問件数		回	540	540	540
特記事項	中間教室に通室している児童生徒の在籍校等への復帰率		%	20	20	20

事務事業名			新規・継続		
保育所費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費			子ども育成課		
投入 指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		年度別事業費	161,421 千円	162,681 千円	162,681 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	47,672 千円	47,672 千円	47,672 千円
	一般財源	113,749 千円	115,009 千円	115,009 千円	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-3	生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

図書館及び市民交流センターは開館以来多くの市民に利用いただいているが、文化センターは各施設とも利用者数が減少傾向で推移している。  
文化センター、美術館、記念館における各種講座等の参加者数は安定しているが、参加者の裾野を広げていくことが課題である。  
美術館・記念館等の生涯学習施設は経年劣化が進んでおり、施設全ての長寿命化を実施するためには、多額の費用を要する。

#### ◆方針

目的
市民の主体的な「学び」を促進するため、魅力ある企画展や市民ニーズを踏まえた各種講座・教室を開催し、生涯学習の機会を創出する。併せて、市民が「学び」の成果を生かし、生きがいづくりにつながるような機会の創出を図る。 生涯学習施設については、各施設の老朽化等を踏まえ、今後のあり方を検討し、管理計画を策定する。 「音楽のまち・こもろ」を実現するため、作曲コンクールやミニコンサート等、まちじゅうに音楽があふれるよう事業の充実に取り組む。

#### ◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・市民ニーズを踏まえた各種講座や教室等の充実を図り、参加者が講座等で得た知識を地域で活かせるような取組を推進する。市民が、音楽の演奏・鑑賞をしやすい環境を整備する。
- ・生涯学習施設を快適に利用できるよう、長寿命化を含めた施設管理計画を策定する。
- ・作曲コンクールの応募数、ミニコンサートの鑑賞者数をそれぞれ増やす。

#### ◆目標

##### ・目標の計画と達成状況

計 画
①市民が主体的に学び、自らを高め、学びの成果を地域で活かし、生きがいをもって生活している状態。 ②生涯学習施設が適切に管理・運営され、市民が芸術・文化にいつでもふれることができる状態。 ③市民が作曲コンクールやミニコンサートなどにより音楽にふれ、生き生きと暮らしている状態。



◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	文化・芸術を身近に感じている人の割合(市民意識調査)						
設定理由	文化・芸術を身近に感じている人の割合が高まれば、市民の主体的な「学び」が促進されていると考えられるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	—	計画	40	41	42	43	
		実績					
指標名	芸術・文化に親しむ機会の充実に対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	芸術・文化に親しむ機会の充実に対して満足を感じている人の割合が高くなれば、市民が芸術・文化にいつでもふれることができていると考えられるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	65.0	計画	68	70	73	75	
		実績					
指標名	ミニコンサートの鑑賞者数						
設定理由	ミニコンサートの鑑賞者数が多くなることにより、市民が音楽にふれ、生き生きと暮らすことができていると考えられるから。						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	727	計画	763	802	842	884	
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・市民ニーズを踏まえた各種講座や教室等の充実を図り、参加者が講座等で得た知識を地域で活かせるような取組を進める。
- ・市民が生涯学習施設を快適に利用できるよう、適切な管理、運営を行う。
- ・個別施設計画に基づき、短期的には必要な改修を行いながら、施設の長寿命化を図る。
- ・作曲コンクールやミニコンサートなど市民が音楽に触れられる環境を整備する。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール4 「質の高い教育をみんなに」

生涯を通じた学びを提供できるよう社会教育施設における講座等を充実し、生涯学習機会の創出を図る。

ゴール11 「住み続けられるまちづくりを」

市民の主体的な学びの場を提供できるよう図書館や公民館の充実を図る。

◆個別計画

教育振興基本計画／子ども読書活動推進計画

◆特記事項

成果指標「文化・芸術を身近に感じている人の割合(市民意識調査)」は、市民意識調査の新規項目。数値目標は、「文化・芸術・スポーツを身近に感じている人の割合(市民意識調査)」の令和元年度数値「38.9%」を参考に設定。

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
社会教育総務費運営費		継続	18		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	市民が「いつでも、どこでも、なんでも」学ぶことができるように環境を整備し、生涯学習で得られた知識や経験が、地域社会、特に子ども若者の支援に還元される社会の形成を企画する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	1,316 千円	1,316 千円	1,316 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	30 千円	30 千円	30 千円		
一般財源	1,286 千円	1,286 千円	1,286 千円		
目的	生涯学習の場と生涯学習推進体制の整備を行うとともに、社会教育委員の知識と経験から得た提言を事業内容に反映させる。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育委員連絡会において、社会教育分野の課題について調査検討を行い、提言書にまとめ教育委員会へ提出する。</li> <li>市民のニーズに応じた出前講座を開催することにより、生涯学習の推進を図る。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	社会教育委員連絡会開催回数	回	4	4	4
	出前講座の参加者数	人	2,000	2,000	2,000
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小諸藤村文学賞事業		継続	12		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	<p>「小諸・藤村文学賞」の作品募集、審査、表彰など          (「小諸藤村文学賞」は、平成4年に、藤村生誕120年、没後50年を記念して創設された。作品の応募は、日本全国からにとどまらず、海外からの応募もあり、応募者はいまだに増加している。長年の継続により、レベルも向上してきている。)</p>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	5,785 千円	5,785 千円	5,785 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	70 千円	70 千円	70 千円		
一般財源	5,715 千円	5,715 千円	5,715 千円		
目的	生涯学習の推進を図るとともに、小諸の文化を発信する一環として、小諸市にゆかりの深い文豪・島崎藤村の名を冠した文学賞を設け、広く作品(随筆・エッセイ)を募集し、表彰する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>全国に向け、小諸藤村文学賞の応募に向けた情報発信を行う。</li> <li>小諸市内の応募者、特に中学生、高校生からの応募増に努める。</li> <li>市民に入選作品を紹介することにより、生涯学習の推進を図る。</li> <li>財源の確保や運営方法について検討する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	一般応募者数	人	1,000	1,000	1,000
	市内中高生応募者数	人	40	45	50
特記事項	活動指標「高校生(全国)の応募者数」を「市内中高生の応募者数」に変更した(R3年度～)				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
成人式開催事業		継続	17		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	伝統儀式「成人式」の新成人(実行委員会)による自主的運営を支援していく環境づくり。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	466 千円	466 千円	466 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	466 千円	466 千円	466 千円		
目的	子どもから大人への過程の中で社会を担っていく責任や、文化を受け継ぎ、人の輪の広がりや人とのふれあいからともに生きる意識づくりのために、成人式を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新成人の代表で実行委員会を組織し、地域に根付いた特色ある成人式の企画及び運営を行う。</li> <li>・令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引下げられることに伴い、成人式のありかたについて各方面から意見を聞き決定する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	成人式の参加率	%	75	75	75
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
史料館等管理事業		継続	15		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	生涯学習振興のうえで重要な位置を占めている社会教育関係施設を運営・維持管理し、住民ニーズへの柔軟、迅速、的確な対応と、新たに生じてくる現代的課題に対応する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	10,325 千円	10,325 千円	10,325 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	50 千円	50 千円	50 千円		
一般財源	10,275 千円	10,275 千円	10,275 千円		
目的	社会教育施設について、地域における文化資産を守り学習推進のための拠点とするため、機能の充実を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文書調査室では、資、史料の収集・調査・研究・普及、教育活動を行う。また、地域の歴史・文化を守るために古文書学習講座を開催し、人材育成を進める。</li> <li>・市役所1階展示情報コーナー等で、古文書調査室の調査成果や閉館した郷土博物館の収蔵品を展示する。</li> <li>・老朽化した施設は、今後のあり方を検討し管理計画を策定する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	古文書の目録作成件数(累計)	冊	6	7	8
	古文書学習講座の参加人数	人	500	550	600
特記事項	・活動指標に「古文書学習講座の参加延べ人数」を追加した(R2年度～)				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
音楽のまち・こもろ推進事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	2:有		
事業概要	音楽には、人に元気や勇気、潤いや癒しを与え、人生を豊かにする力がある。まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」をめざして、作曲コンクールほか各種事業を推進する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	3,227 千円	3,227 千円	3,227 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	3,227 千円	3,227 千円	3,227 千円		
目的	まちじゅうに音楽をあふれさせることにより、まちを活性化し、小諸市民に元気や勇気、潤いや癒しを与える。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回ミニコンサートを開催する。</li> <li>・「音楽のまち・こもろ作曲コンクール」について、応募者を増やす取組みを継続して実施する。</li> <li>・音楽団体に呼びかけ、事業を推進するための意見を聞く。</li> <li>・音楽団体(個人含む)のネットワークづくりを行う。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	音楽のまち・こもろ作曲コンクールの応募件数	件	50	50	50
	ミニコンサートの開催回数	回	12	12	12
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
青少年育成補導推進事業		継続	14		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	青少年の健全な成長の啓発及び地域での活動支援として、各地域や小中学校における事業の支援を行うほか、青少年の非行防止のための巡回活動、有害環境の排除を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	4,106 千円	4,106 千円	4,106 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	4,106 千円	4,106 千円	4,106 千円		
目的	青少年が社会との関わりを自覚しつつ、自律した個人として自己を確立し向上していけるように、また青少年の健やかな成長のために支援していく。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年補導委員について、公募委員を増やす。</li> <li>・青少年健全育成推進のため、補導委員会が各区育成会やPTA支部と連携を図り、現在おかれている青少年の課題や問題点に対応できる体制の強化を行う。</li> <li>・小中学校における信州型コミュニティ・スクール推進を支援するため、交付金を交付する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公募による青少年補導委員	人	5	5	5
	信州型コミュニティスクール推進事業交付金を活用した学校の数	校	8	8	8
特記事項	青少年健全育成都市宣言に関する決議(平成9年3月21日)				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
図書館運営事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・2図書館費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	市立小諸図書館の基本理念「みんなの役に立ちます」と5つの基本方針に則った公共図書館の運営					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	55,691 千円	55,691 千円	55,691 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	244 千円	244 千円	244 千円	
	一般財源	55,447 千円	55,447 千円	55,447 千円		
目的	市民の暮らしを支え、一人ひとりに役に立つ公共図書館を運営する。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務委託について適正に管理を行い、今後の委託のあり方を検討する。</li> <li>・市役所各課及び関係機関等との連携を進め、市民の知りたい情報、役に立つ情報を提供する。</li> <li>・子どもの読書活動を推進するため関係機関との連携を深める。</li> </ul>						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	来館者数	人	210,000	210,000	210,000	
	資料貸出し数	冊	254,000	254,000	254,000	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
公民館運営事業		継続	11			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	趣味や教養を高める学習とともに、地域課題に直結する学習と実践を支援する施設として、施設の維持管理を行う。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	8,790 千円	14,501 千円	12,873 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	739 千円	1,132 千円	1,132 千円	
	一般財源	8,051 千円	13,369 千円	11,741 千円		
目的	生涯学習による生きがいがづくりの場を提供する施設として、公民館を運営・維持管理する。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の利便を図る、特に、高齢者や障がいのある方がより良く利用しやすいように、公民館を運営・維持管理する。また、災害時の住民受入れ対応もできるようにしていく。</li> </ul>						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	公民館運営審議会の開催回数	回	2	2	2	
	こもろ女性の会運営委員会開催回数	回	2	2	2	
特記事項						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
公民館報発行事業		継続	16		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	広報こもと併せた公民館報を編集し、発行する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,802 千円	2,707 千円	2,707 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,802 千円	2,707 千円	2,707 千円		
目的	生涯学習による生きがいがづくりにつなげるために、各種講座・サークル・文化会館での催物・支館分館での取り組み等、学習情報を提供する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの市民に読まれ、親しまれる館報となるよう創意工夫を行う。</li> <li>館報の掲載内容・紙面構成について、正確でわかりやすいものとなるように館報編集委員会で検討を行う。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公民館報の発行回数	回	12	12	12
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
支館・分館支援事業		継続	13		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	最も身近な学習の拠点として、住民自らが生活地域の課題・宝に気づき、課題を共有し、住民同士のつながりを作り出す地域づくりの実践をすすめる支館・分館活動への支援。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	5,752 千円	6,087 千円	6,087 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	5,752 千円	6,087 千円	6,087 千円		
目的	公民館支館・分館が、学習と活動を結びつけて地域づくりにつなげる地域の拠点となるよう支援をする。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>支館・分館が、生きがいがづくり、地域づくりのための学習と実践を支援するための場所となるよう、公民館関係役員研修会を年3回開催し、支館ごとの研修会を開催する。また、各支館・分館活動事例発表を行い、他の公民館活動内容を傾聴することにより分館等活動の活発化の一助、参考となるように実施する。</li> <li>小諸市公民館と地域が密接につながるように、また、支館が分館への指導、支援ができるようにしていくために、支館の運営、活動及び分館活動の活性化となる支館・分館活動のモデル事業を実施する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公民館役員研修会	回	3	3	3
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
学級・講座等開催事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種学級・講座等の開催</li> <li>・自主学習グループの育成指導等</li> </ul>				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,851 千円	2,883 千円	2,883 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,851 千円	2,883 千円	2,883 千円		
目的	市民の主体的な「学び」を促進するため、市民ニーズを踏まえた各種講座・教室を開催し、生涯学習の機会を創出する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な年齢層の多くの市民が参加できるように引き続き改善し、市民ニーズを踏まえ新しい企画等を考え、各学級・講座を開催する。また、各学級・講座の終了時には、アンケート等を集約し、結果を検討し、内容に反映させていく。</li> <li>・こもろ女性の家の自主講座では、引き続き、保育士を配置し、託児の希望に応え、講座に参加しやすい環境を整える。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公民館の講座参加者数	人	1,000	1,000	1,000
	公民館の講座数	回	170	170	170
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
文化センター運営事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・4文化センター費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	文化会館等施設環境の整備をする。 市民文化の向上と文化振興を図るため、自主事業を開催する。 また、貸館で、利用者の利便を図る。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	165,274 千円	32,280 千円	32,280 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	3,264 千円	5,683 千円	5,683 千円		
一般財源	162,010 千円	26,597 千円	26,597 千円		
目的	文化発信の場とするために、文化会館等の維持管理と、文化団体との連携による自主事業を開催する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールの舞台機構等の改修、吊り物等の改修について、計画的に進める。</li> <li>・市民ニーズに応えられ文化水準の向上に寄与する自主事業を実施する。</li> <li>・「音楽のまち・こもろ」を実現するため、市民音楽祭の充実に取り組む。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	文化会館ホールの設備改修	施設	舞台機構一式	—	—
	自主公演事業開催回数	回	3	3	3
特記事項	昭和59年に文化会館が建設され開館35年以上経ているが、当館ホール舞台機構設備の一式の吊物ワイヤーロープ、制御盤・操作盤等の耐用年数が過ぎ経年劣化が著しいので更新・改修を進め、安全で快適な設備環境を整える。なお、1期目は平成30年度に工事発注し、令和元年度に工事を行う。2期目として令和3年度実施予定である。				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小山敬三美術館運営事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	小山敬三美術館の運営・維持管理 (選り抜かれた作品を集め、長く安全に保管することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知ってもらう。)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	16,816 千円	16,816 千円	16,816 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	636 千円	636 千円	636 千円		
一般財源	16,180 千円	16,180 千円	16,180 千円		
目的	小山敬三氏寄贈の趣旨により美術作品(洋画等)及び遺品を保管展示し、地域文化の振興と青少年の芸術への関心を高めるとともに、その画業を記念する。				
令和3年度の目標					
・新収蔵作品の公開をはじめ、企画展の開催、講演会、写生会などを通し、作品鑑賞の場をより多く提供する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	入館者数	人	22,000	22,000	22,000
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
高原美術館・白鳥映雪館運営事業		継続	7		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	高原美術館・白鳥映雪館の運営・維持管理 (選り抜かれた作品を集め、長く安全に保管・展示することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知らせる。)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	21,889 千円	21,889 千円	21,889 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	529 千円	529 千円	529 千円		
一般財源	21,360 千円	21,360 千円	21,360 千円		
目的	郷土出身の作家の作品を適正かつ大切に保管・展示することで、生涯学習の場としての機会を提供する。				
令和3年度の目標					
・館の維持管理・運営を適正かつ円滑に行うとともに、展示他活動の周知・宣伝に努め、入館者増を図る。 ・老朽化し始めた施設について、修繕の必要な箇所を把握し、管理計画を策定する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	入館者数	人	14,000	14,000	14,000
特記事項	・活動目標の入館者数について、近年の入館者数を考慮し、10,000人から14,000人に修正した。(R3年度～)				



政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
高原美術館・白鳥映雪館企画展開催事業		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	高原美術館・白鳥映雪館の企画展の開催 (小諸・地域に関わりのある作品を中心に展示し、その鑑賞により来館者に有意義な時間を過ごしてもらう。)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	3,952 千円	3,952 千円	3,952 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	1,572 千円	1,572 千円	1,572 千円		
一般財源	2,380 千円	2,380 千円	2,380 千円		
目的	内容の異なる企画展を開催することで館の魅力を高め、市民をはじめ多くの方に来館してもらう。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展について、内容を工夫しながら年10回開催し、多くの方に来館していただけるよう努める。</li> <li>協議会委員から企画展の内容について意見をいただき、魅力ある企画展を開催する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	企画展等開催回数	回	10	10	10
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
藤村記念館運営事業		継続	8		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	藤村記念館の運営・維持管理 (島崎藤村の遺墨、遺品及び関係資料を収集し、保管し、これを教育的配慮の下に展示して、市民の利用に供し、その教養と調査研究等に資する。)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	9,946 千円	9,946 千円	9,946 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	427 千円	427 千円	427 千円		
一般財源	9,519 千円	9,519 千円	9,519 千円		
目的	市民が主体的に学べる生涯学習の場として、島崎藤村が、1899年(明治32年)から1905年(明治38年)までの7年間、小諸で過ごした時代の偉業を顕彰し、その精神を今後も引き継ぎ、広く関係者と連携し発展させていく。				
令和3年度の目標					
「藤村忌」「文学講座」「出前講座」「企画展」の開催により、義塾記念館と併せ、館の魅力を高める。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	入館者数	人	34,000	34,000	34,000
	藤村忌参加者	人	200	200	200
特記事項	活動目標の入館者数について、実態と乖離しているため43,000人から34,000人に下方修正した。(R3年度～)				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
小諸義塾記念館運営事業		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	小諸義塾記念館の運営・維持管理 (小諸義塾に関する資料を収集、保管、展示し、市民の学習、学術、文化の発展に資する。)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,405 千円	2,405 千円	2,405 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	14 千円	14 千円	14 千円		
一般財源	2,391 千円	2,391 千円	2,391 千円		
目的	木村熊二を招き1893年(明治26年)に開校し、1906年(明治39年)閉塾まで小諸の中等教育の拠点であった「小諸義塾」に関する資料を収集保存し、その教育精神を今後も引き継ぎ、広く関係者と連携し発展させていく。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤村記念館と合わせ広報することにより、入館者を増やす。</li> <li>・木村熊二留学先で中学生海外派遣事業先でもあるホープカレッジ校の関係資料を展示する。</li> <li>・無人管理について検討する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	入館者数	人	12,000	12,000	12,000
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
高濱虚子記念館運営事業		継続	10		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	高濱虚子記念館の運営・維持管理 (高濱虚子に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民文化の振興に寄与する。)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	8,906 千円	8,906 千円	8,906 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	281 千円	281 千円	281 千円		
一般財源	8,625 千円	8,625 千円	8,625 千円		
目的	市民が主体的に学べる生涯学習の場として、高濱虚子が、1944年(昭和19年)から1947年(昭和22年)までの3年間、小諸で過ごした時代の偉業を顕彰し、その精神を今後も引き継ぎ、広く関係者と連携し発展させていく。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で極端に減少した入館者を呼び戻すため、魅力ある企画展を開催する。</li> <li>・入館者が少ない冬季(12~3月)は閉館する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	入館者数	人	2,400	2,400	2,400
	虚子・こもろ全国俳句大会応募者	人	6,000	6,000	6,000
特記事項					

事務事業名			新規・継続		
社会教育総務費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費			文化財・生涯学習課		
投入 指標			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年度別事業費		90,150 千円	90,150 千円	90,150 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		90,150 千円	90,150 千円	90,150 千円	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-4	かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

「KOMORO HISTORY」「小諸ふるさと遺産」「古文書学習講座」などにより文化財に関する学びの機会を醸成している。また、指定文化財保護補助金により保存・継承を図っている。

文化財の所有者・継承者の高齢化や後継者不足などにより、保存・継承・活用等が難しくなっている。

古文書の整理・調査を古文書調査室で行っているが、収集・保存・展示・調査研究等を行う体制が不足しており、郷土の貴重な歴史的資料や古文書等の散逸が危惧される。

課題であった旧小諸本陣(問屋場)の解体・復原工事に着手するが、多額の費用を投じるため、今後の活用方法を含め十分な検討を要する。

#### ◆方針

目的
<p>小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等と連携を取り積極的な有効活用を図る。</p> <p>個人や団体が所有・継承している文化財は、適切に保存・継承・活用等ができるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。</p> <p>郷土の貴重な歴史的資料や古文書等が散逸しないよう、収集・保存・展示・研究等を一体的に行う体制の充実を図る。</p> <p>ふるさと「小諸」を愛し、大切に思う心を育み、歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。</p>

#### ◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・文化財を適切に保存・継承し、観光等に有効活用できるよう情報提供や助言を行う。
- ・旧小諸本陣「問屋場」の復原後の有効活用について検討する。
- ・市名勝指定「小諸城址三之門」の災害復旧事業への支援を行う。
- ・小諸ふるさと遺産認定事業を継続し、市民への浸透を図る。

#### ◆目標

##### ・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①文化財が適切に保存・継承されるとともに、観光面等で有効に活用されている状態。</p> <p>②地域や住民が自ら、文化財を保存・継承するための活動が行われている状態。</p> <p>③歴史的資料や古文書等の収集・保存・展示・研究等を一体的に行い、活用されている状態。</p>

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	伝統行事や文化財の保存・活用の状況に対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	伝統行事や文化財の保存や活用の状況に満足と感じている人の割合が高くなれば、文化財の保存・継承・活用等が適切に行われていると考えられるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	67.3	計画	69	71	73	75	
		実績					
指標名	指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の申請数						
設定理由	指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の活用により、文化財を保存・継承するための活動が行われていると考えられるから。						
算式						単位	件
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	15	計画	15	15	15	15	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を適切に保存・継承しながら、観光等において活用促進を図る。
- ・旧小諸本陣(問屋場)の復原後の有効活用について修理専門委員会(仮称)を組織する。
- ・市名勝指定した「小諸城址懐古園」の県名勝指定を進める。
- ・小諸ふるさと遺産認定事業により、身近な文化財等への愛着と誇りを醸成する。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール4 「質の高い教育をみんなに」

かけがえのない文化財の保存・継承・活用等を図り、ふるさとの誇れる芸術・文化を学ぶ機会の創出を図る。

ゴール11 「住み続けられるまちづくりを」

歴史的、文化的な資料にふれ、ふるさとを愛し大切に思う心を育み、芸術・文化のまちづくりを推進する。

◆個別計画

教育振興基本計画

◆特記事項

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
文化財保護活用事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要	市内各所にある文化財は、市民の貴重な財産であり、それらを適切に保存・継承していくことは、今を生きる私たちの責務である。しかし、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等に積極的に有効活用してこそ、より存在意義が高まる。文化財が適切に保存・継承されるとともに、有効活用がなされるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	22,981 千円	22,981 千円	22,981 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	1,672 千円	1,672 千円	1,672 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	9,729 千円	9,729 千円	9,729 千円		
一般財源	11,580 千円	11,580 千円	11,580 千円		
目的	市民の貴重な財産である文化財を永く後世に伝えるため、適切に保存・継承するとともに、観光面等に積極的に有効活用する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小諸城址懐古園の県名勝指定に向けて関係機関と調整・協議を行い、国の名勝指定に向けた取り組みを行う。</li> <li>・歴史ある建造物について、国登録有形文化財にするために登録申請を行う。</li> <li>・指定文化財保護補助金の交付や文化財説明看板の設置等を通じ、文化財の保存・継承・活用を推進する。</li> <li>・ふるさと学習につながる取り組みを行う。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	学芸員の配置人員	人	2	2	2
	文化財保護審議会の開催回数	回	2	2	2
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
旧小諸本陣建造物保存修理事業		継続	1		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	2:有		
事業概要	北国街道沿いにある「旧小諸本陣(問屋場)」は、城下町であり、宿場町でもあった往時の小諸を偲ばせる貴重な建築物です。国の重要文化財にも指定されているが、著しく老朽化が進行している。このため、これを往時の姿に復元し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復元工事を実施する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	121,311 千円	102,000 千円	183,000 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	63,600 千円	54,060 千円	96,990 千円	
	地方債	52,200 千円	43,146 千円	77,409 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	5,511 千円	4,794 千円	8,601 千円		
目的	国指定重要文化財である「旧小諸本陣」を往時の姿に復元し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復元工事を実施する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・解体工事を行う。また、曳家工法など市民に公開し、文化財保全の難しさに触れてもらう。</li> <li>・復元した建物が有効活用されるよう、関係者と協議を行う。</li> <li>・広報等を使い事業の進捗状況を知らせるとともに、解体現場の工事見学会等の開催を検討する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	解体工事の着手		工事実施	工事実施	工事実施
	解体復元工事について協議する委員会の開催	回	2	2	2
特記事項					



政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1ー5	スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

所 管	スポーツ課
関 連	健康づくり課
関 連	
関 連	
関 連	
関 連	

◆現状と課題

小諸市では、地域指導者によるスポーツ少年団活動や各種団体の教室、大会の開催などによる様々な年代層へのスポーツ振興が行われている。また、ウォーキングなど年齢や体力に応じた健康保持につながる生涯スポーツも推進している。しかし、スポーツニーズが多様化するなか、参加者や競技団体の減少、団体役員の高齢化などもあり、ニーズに応じた教室の検討や競技団体と連携した人材(担い手)育成が課題となっている。

◆方針

目的
<p>スポーツ推進計画に基づいて、関係団体と利用者ニーズに応じた教室の開催や指導者育成によるスポーツ振興に取り組むとともに、今後予定されている2028年の国民スポーツ大会への準備を進める。</p> <p>それぞれの体力や年齢・目的などに応じて、生涯を通じてスポーツに親しみ、活動する取り組みを関係課と連携して進める。スポーツに親しむ環境を整備するため、体育施設の充実や個別施設計画による統廃合を含めた適切な整備を図り、安全安心な利用が行える施設管理に努める。</p> <p>国内トップレベルの選手(アスリート)と交流する機会の充実を図り、競技への興味やスポーツをするきっかけづくりなど市民がスポーツに親しみ、まちの活性化、健康づくりにつながる取り組みを進める。</p>

◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・各種団体と連携し、年齢・体力・ニーズなどに沿ったイベント・教室の開催を企画する。
- ・2028年の国民スポーツ大会に向けての準備を進めるとともに、個別施設計画による体育施設の適切な維持管理に努める。
- ・市民交流会やアスリートによる教室を開催し、アスリートと市民が交流する機会の充実を図る。

◆目標

- ・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①体育施設の利用などを通じて、地域でのスポーツに親しむ人が増え交流や活動が増える状態。</p> <p>②市民がそれぞれの体力や年齢・技術・興味・目的などに応じてスポーツに親しむことができる状態。</p>



◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	スポーツ・レクリエーションの環境づくりに対する満足度(市民意識調査)						
設定理由	満足度が上がることにより、活動などの行いやすい環境の提供ができていると考えられるから。						
算式	満足、やや満足、普通の合計数値					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	54.5	計画	56	57	58	60	
		実績					
指標名	スポーツを身近に感じている人の割合(市民意識調査)						
設定理由	スポーツを身近に感じている人の割合が高まれば、スポーツを通じた交流や活動などが増えていると考えられるから。						
算式	そう思う、ややそう思うの合計数値					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	—	計画	40	41	43	45	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・スポーツ推進計画に基づき、各種団体と連携し年齢、体力、ニーズなどに沿ったイベントや教室の開催を企画する。
- ・2028年の国民スポーツ大会に向けて関係団体と連携を密にし、施設整備の計画策定や該当する競技団体の競技力向上の支援を進める。
- ・アスリートと市民の交流を図り、交流によるまちの活性化、健康づくりにつながる取り組みを進める。
- ・高峰高原の優位性を生かした取り組みを推進する根拠として、高地トレーニングのエビデンス(科学的根拠)の作成を東海大学スポーツ医科学研究所との包括連携協定により進める。
- ・個別施設計画による体育施設の適切な維持管理に努める。
- ・各種団体及びスポーツ推進委員を軸とした生涯スポーツの推進を図る。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

- ゴール3「すべての人に健康と福祉を」  
それぞれの体力や年齢・技術・興味・目的などに応じてスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康の保持や増進など多様な意義を持てることを目指す。
- ゴール4「質の高い教育をみんなに」  
国内トップレベルの選手(アスリート)と接し、競技に打ち込む姿勢や想い、頂点を目指し努力する姿などから、情熱やひたむきさを感じ、生涯学習教育の一助となることを目指す。
- ゴール11「住み続けられるまちづくりを」  
スポーツニーズの多様化に応じた体育施設の管理運営を人口規模や利用状況なども検討しながら、安全・安心にスポーツに親しめる施設環境づくりを目指す。

◆個別計画

教育振興基本計画／スポーツ推進計画

◆特記事項

成果指標「スポーツを身近に感じている人の割合(市民意識調査)」は、市民意識調査の新規項目。数値目標は、「文化・芸術・スポーツを身近に感じている人の割合(市民意識調査)」の令和元年度数値「38.9%」を参考に設定。

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
保健体育総務費運営費		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無		
事業概要	市民のスポーツの推進・振興を図るため、スポーツ推進審議会の開催、小諸市体育協会はじめ各スポーツ団体への助成等を行う。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	5,794 千円	5,794 千円	5,794 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	5,794 千円	5,794 千円	5,794 千円		
目的	スポーツの推進・振興を通じ、市民の健康づくり及び体力の保持増進を図る。				
令和3年度の目標					
小諸市体育協会や小諸市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、各種大会やスポーツ教室を企画する。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	スポーツ推進審議会の開催数	回	2	2	2
特記事項	令和3年度から活動指標を変更する。				
	(変更前)スポーツ推進審議会の開催数 (変更後)スポーツ推進審議会、体育協会、競技団体等との協議の回数				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
スポーツ推進委員会運営事業		継続	10		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無		
事業概要	市のスポーツ推進事業の実践を担うスポーツ推進委員の活動を支援する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	687 千円	687 千円	687 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	687 千円	687 千円	687 千円		
目的	スポーツを通じて市民の健康維持・増進を図るため、市民への指導及び助言を行うスポーツ推進委員を育成する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会や研修会等に積極的に参加し、委員の資質向上を図るとともに、活動を通じて地域のリーダーを養成する。</li> <li>・近年人気のあるパラリンピック正式種目のポッチャ等、ニュースポーツの講習会をスポーツ推進委員が地域で開催できるように定例会後に講習を行う。</li> <li>・出前講座でのニュースポーツの紹介や、健康づくり課等と連携し、ウォーキング等の身近にできる健康づくりを推進する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	定例会の開催数	回	12	12	12
特記事項	令和3年度から活動指標を変更				
	(変更前)定例会の開催数 (変更後)出前講座、講習会・研修会等の回数(開催・参加)				

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
スポーツ大会等運営事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無			
事業概要	幅広い年齢層に対応したスポーツ大会やスポーツ教室等を開催する。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	4,052 千円	4,052 千円	4,052 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	4,052 千円	4,052 千円	4,052 千円	
目的	市民のスポーツ参加意欲を向上させ、健康・体力の増進を図るとともに、スポーツに親しむ機会を提供する。					
令和3年度の目標						
市主催のスポーツ大会、スポーツ教室はもとより、体協各部が主催する市民大会について、広報こもろ、市ホームページ、SNS等を活用し積極的に市民へ周知する。あわせて、市民ニーズに合ったスポーツ大会等を企画する。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	スポーツ大会数	大会	8	8	8	
特記事項	競技団体等主催市内スポーツ大会数	大会	84	84	84	
	目標・活動指標追加:平成30年度分から市の主催大会数だけではなく市内で開催される大会数を追加					
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
学校開放事業		継続	8			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無			
事業概要	市内の小中学校の体育施設(校庭・体育館)を地域のスポーツクラブ・スポーツ団体等に開放にする。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	363 千円	363 千円	363 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	363 千円	363 千円	363 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
目的	市民が身近な施設でスポーツ活動に親しむことができるよう、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し、生涯スポーツの振興を図る。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>登録団体を増やすため、広報こもろ、市ホームページ等により未利用団体にも学校施設の利用について事業をPRする。</li> <li>学校運営に支障が生じないように利用者と学校との調整を行う。</li> </ul>						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	登録団体数	団体	48	49	50	
特記事項	利用件数	件	1,900	1,950	2,000	

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
高地トレーニング等推進事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>高地トレーニング構想の推進として、オリンピック事前合宿等の誘致及び、当該合宿チーム等を支援する。</li> <li>2028年の国民スポーツ大会での当該種目の競技力向上のための支援をする。</li> <li>アスリートと子どもたちとの交流を図る。</li> <li>上記に必要な市施設の環境整備等を実施する。</li> </ul>					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	1,380 千円	2,000 千円	2,000 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	1,380 千円	2,000 千円	2,000 千円			
目的	高地トレーニング環境の優位性を生かすスポーツ合宿の誘致を進め、地域ブランド力の向上を図るとともに、訪れたアスリート・競技団体と子どもたちの交流によるスポーツ振興やまちの活性化と地域づくりにつなげる。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>小諸市エリア高地トレーニング推進協議会と連携し、アスリートや競技団体等の合宿誘致と支援を行う。</li> <li>アスリートと子どもたちの交流する機会を企画し、競技への興味やスポーツを始めるきっかけづくりとなる取り組みを進める。</li> <li>高峰高原の優位性を活かした取組みを推進するための根拠として、高地トレーニングのエビデンス(科学的根拠)の取り組みを東海大学スポーツ医科学研究所との連携協定により進める。</li> <li>2028年の国民スポーツ大会に向けて、関係団体と連携し競技力向上の支援を進める。</li> </ul>						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	高地トレーニング関係の延べ宿泊数	件	2,800	2,800	2,800	
特記事項						
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
体育施設運営費		継続	7			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無			
事業概要	教育委員会が管理する各体育施設及び付帯施設の維持管理。 (南城公園マレットゴルフコース・南城公園内トイレ・乙女湖公園テニスコート・乙女湖公園ゲートボール場・乙女湖公園内トイレ・乙女湖公園内管理棟・市営野球場・平成の森マレットゴルフコース・御影マレットゴルフコース)					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	6,941 千円	6,941 千円	6,941 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	858 千円	858 千円	858 千円	
一般財源	6,083 千円	6,083 千円	6,083 千円			
目的	市民が、それぞれの年齢や体力等に応じて安全・快適に利用できる体育施設の環境を整え、生涯スポーツの振興を図る。					
令和3年度の目標						
小諸市スポーツ推進計画、公共施設等総合管理計画に基づき、体育施設の適切な維持管理を行う。						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	体育施設の事故件数	件	0	0	0	
	担当職員の巡回による施設点検の回数	回	40	40	40	
特記事項	令和3年度から活動指標を変更 (変更前)体育施設の事故件数 (変更後)担当職員の巡回による施設点検の回数					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
総合体育館等運営事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無		
事業概要	指定管理による体育施設の維持管理。 (総合体育館、武道館、アーチェリー場、屋内ゲートボール場すぱーく小諸、和田体育館、懐古射院)				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	13,239 千円	13,239 千円	13,239 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	13,239 千円	13,239 千円	13,239 千円		
目的	社会体育の拠点施設として、指定管理者による施設の適切な維持管理を行うとともに、管理者による自主事業の展開により施設利用者の増を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と情報共有を行い、施設の適切な維持管理・運営を行う。</li> <li>・総合体育館自主事業をPRするほか、小諸市エリア高地トレーニング推進協議会との連携により合宿時の施設利用等受入拡大を図る。</li> <li>・2028年の国民スポーツ大会開催に向けた施設整備等の準備を進める。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総合体育館利用者数	人	54,500	55,000	55,500
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
南城公園プール運営事業		継続	9		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無		
事業概要	スポーツ施設、レジャー施設として南城公園プールを運営・維持管理する。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	2,271 千円	2,271 千円	2,271 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	2,271 千円	2,271 千円	2,271 千円		
目的	プールの適切な維持管理を行い、安全・安心の下、市民が水に親しむ機会を提供する。				
令和3年度の目標					
南城公園プールを適切に管理し、市民が水と親しむ機会を提供する。安全・安心な施設運営のための維持補修を行う。					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	南城公園プール入場者	人	13,000	13,000	13,000
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
大栄小諸球場運営事業		継続	5		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無		
事業概要	大栄小諸球場の施設及び付帯施設の維持管理。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	5,016 千円	5,016 千円	5,016 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	1,550 千円	1,550 千円	1,550 千円	
一般財源	3,466 千円	3,466 千円	3,466 千円		
目的	安全で快適に使用できる環境を整えるための維持管理を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で快適に使用できる環境を整えるため、計画的な維持管理を行う。</li> <li>有料広告掲出料等の自主財源を有効活用し、計画的に改修を進める。</li> <li>大会、合宿等、利用者間の調整を行い、効率的な利用により利用率の向上を図る。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	大栄小諸球場利用者数	人	18,000	18,500	19,000
	大栄小諸球場利用率	%	90	90	90
特記事項	平成31年度より体育施設運営費から事業出し				
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
天池総合運動場運営事業		継続	6		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無		
事業概要	小諸市総合運動場の施設及び付帯施設の維持管理。				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	3,397 千円	3,397 千円	3,397 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	120 千円	120 千円	120 千円	
一般財源	3,277 千円	3,277 千円	3,277 千円		
目的	トップアスリートの高地トレーニング合宿の拠点施設とするとともに、利用者がそれぞれの目的に合わせて安全に使用できる施設として適切な維持管理を行う。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>小諸市エリア高地トレーニング推進協議会との連携により市内外の利用者の拡大を図る。</li> <li>トップアスリートの高地トレーニング合宿の拠点施設のみならず、さまざまな利用者が安心して利用できる施設として適切な維持管理を行う。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	高地トレーニング合宿受入団体数	団体	20	20	20
	野球場、陸上競技場、サッカー場の利用団体数	団体	25	25	25
特記事項	平成31年度より体育施設運営費から事業出し				



政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-6	市民の人権意識を高めます

所 管	人権同和教育課・人権政策課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

平成30年度の「人権・同和問題、男女共同参画に関する市民意識調査」によると、約3割の人が「人権を侵害されたことがある」、また、「性別によって役割を固定する考え方」について2割以上の人が賛成と回答している。令和元年度から令和2年度に「部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画」「男女共同参画こもろプラン7」の策定に向けた、女性、障がい者団体などとの聞き取り調査でも、差別、偏見、不平等などを受けた体験が語られた。  
このような状況を踏まえ、差別のない、すべての人の人権が尊重される社会の実現を図る必要がある。

#### ◆方針

目的
<p>社会には、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人等に対する差別や偏見など、様々な人権問題が存在している。すべての人の人権が尊重され、差別のない小諸市を築くため、家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、学習や啓発、交流活動を通じて市民の人権意識を高め、差別や偏見など人権が侵害されたときに、適切な相談・解決の支援を受けられるよう、体制を充実させる。</p> <p>また、女性活躍推進などの取り組みにより、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現を目指す。</p>

#### ◆今後の取り組みのうち令和3年度重点方針と目標

- ・地域における人権教育の場である人権懇談会において、「部落差別解消推進法」の周知、継発を図るとともに、全区での開催をめざして未開催区への働きかけを強化する。
- ・人権センターの教育、啓発、相談等の機能を高めるとともに、耐震診断結果を踏まえ、今後の施設のあり方を検討する。

#### ◆目標

##### ・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①市民が、家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、人権に関する知識が得られ、様々な人々との交流の機会を通じ、差別や偏見等に気づくことができる人権感覚が身についた状態。</p> <p>②市民が人権問題について、必要なときに相談ができ、解決に向けた支援が受けられる状態。</p> <p>③男女共同参画及びジェンダー平等社会が実現できた状態。</p>



◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	1年以内に、差別や偏見など人権を侵害されたことのある人の割合(市民意識調査)						
設定理由	人権を侵害されたことのある人の割合が低くなれば、市民の人権意識が高まったと考えられるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	9.8	計画	0	0	0	0	
		実績					
指標名	審議会委員等への女性の参画率						
設定理由	審議会委員等への女性の参画率が高くなれば、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現に近づくから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	40.4	計画	45	45	45	45	
		実績					
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・家庭、地域、学校、企業等のそれぞれの場において、人権同和教育の学習や啓発の取り組みを行う。
- ・人権センターを、名実ともに部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けた取り組みの拠点とするため、交流・啓発活動、相談等の機能を高めるとともに、利用者にとって喫緊の課題である施設の耐震化、バリアフリー化を検討する。
- ・男女共同参画こもろプラン7を推進し、男女共同参画社会、ジェンダー平等社会の実現を目指す。
- ・多文化共生社会を目指し、外国籍市民くらしの相談、日本語教室、日本語学習支援セミナー、交流事業を展開する。

◆SDGsの推進に向けた取り組み

ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」

家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、学習や啓発を行い、性別に基づく固定的な考え方や役割をなくし、男女平等の社会を目指す。

ゴール16「平和と公正をすべての人に」

家庭、地域、学校、企業等の様々な場において学習や啓発、交流活動を行い、差別や偏見をなくし、すべての人の人権が尊重される社会を目指す。

◆個別計画

教育振興基本計画／部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画／男女共同参画こもろプラン

◆特記事項

--

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
隣保館運営事業		継続	2		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・6人権政策費・2隣保館運営費		人権政策課	1:無		
事業概要	・人権啓発の拠点としての人権センターの運営				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	10,829 千円	10,829 千円	10,829 千円	
	特定財源 国・県支出金	4,400 千円	4,400 千円	4,400 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	150 千円	150 千円	150 千円	
一般財源	6,279 千円	6,279 千円	6,279 千円		
目的	人権センターを人権啓発の拠点、地域に開かれたコミュニティーセンターとして、各種事業を展開しながら、地域福祉の向上と部落差別等あらゆる差別の根絶に向けた人権意識の高揚を図る。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談事業の充実。</li> <li>・文化・教養事業を通じて人権啓発を図る。</li> <li>・人権フェスティバルを開催し、活動発表等を通じて人権啓発を図る。</li> <li>・人権センターの耐震診断(R2年度からの繰越事業)</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	人権フェスティバルの開催 文化、教養事業の実施回数	回	1 79	1 78	1 79
特記事項					
事務事業名		新規・継続	施策内順位		
男女共同参画推進事業		継続	3		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・6人権政策費・3男女共同参画推進費		人権政策課	2:有		
事業概要	・男女共同参画推進のための各種講演会・研修会等の啓発活動の実施				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	555 千円	555 千円	555 千円	
	特定財源 国・県支出金	50 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	505 千円	555 千円	555 千円		
目的	男女の違いを正しく認め合った上で、互いに尊敬しあい、一人ひとりが社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できる男女共同参画社会づくりを推進するため。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画プランに基づき、女性の参画率向上を図る。</li> <li>・男女共同参画セミナー等を開催し、男女共同参画の意識向上を図る。</li> <li>・企業の男女共同参画への理解を深めるため、研修及び情報提供を行う。</li> <li>・女性の意見を市政へ反映させるための女性会議を開催する。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	審議会、委員会等の委員に女性が占める割合	%	45	45	45
特記事項					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
多文化共生推進事業		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・6人権政策費・4多文化共生推進費		人権政策課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流事業の実施</li> <li>相談等による外国籍市民の地域生活の支援</li> <li>外国籍市民の日本語学習の支援</li> <li>外国籍市民支援ボランティアの育成</li> </ul>					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	512 千円	512 千円	512 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	512 千円	512 千円	512 千円			
目的	互いの人権を尊重し、国際感覚を高め、文化や個性の違いを認め合う意識を醸成するため、交流事業を行う。外国籍市民が日常生活に必要な情報を知り、コミュニケーション力を高めるため、くらしの相談や日本語学習支援、支援ボランティアの育成を行う。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>外国籍市民への理解や日本語教室を行う日本語ボランティアを育成するためのセミナー等を開催する。</li> <li>定例及び夏休み、冬休み、受験時に合わせた日本語教室を、希望する児童に対し、校外で実施する。</li> <li>ボランティア団体による国際交流活動について、内容の充実に向けた支援や市民への周知を行う。</li> <li>外国籍市民への支援のため、相談窓口体制の充実を図る。</li> </ul>						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	日本語学習支援教室開催回数	回	60	60	60	
特記事項	日本語学習支援セミナー等の開催回数					
			2	2	2	
事務事業名		新規・継続	施策内順位			
人権同和教育推進事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・5人権同和教育費・1人権同和教育費		人権同和教育課	1:無			
事業概要	人権同和教育を学校・地域・企業等で推進する。					
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	年度別事業費	3,596 千円	3,596 千円	3,596 千円		
	特定財源	国・県支出金	175 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	120 千円	0 千円	0 千円	
一般財源	3,301 千円	3,596 千円	3,596 千円			
目的	市民の人権意識が高まり、学校・企業・地域などあらゆる分野で差別や偏見のない社会実現のため、人権に関する教育を実施するとともに、啓発活動を行う。					
令和3年度の目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての区で人権懇談会が開催できるように内容の検討、手法を工夫する。</li> <li>幼保小中養高人権同和教育研究委員会において、教職員の連携と資質の向上を図るとともに統一単元の運用と検証を行う。</li> <li>集会所での交流、学習活動を支援する。</li> </ul>						
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	人権同和教育推進委員会研修会の開催	回	2	2	2	
特記事項	人権懇談会の開催区数					
			68	68	68	
特記事項	活動指標②「人権同和教育推進委員会(助言者会)の開催」(人権懇談会の充実を図るためには、助言者会を開催し、専門的な意見を集約することが必要だから。:目標3回)を R3年度から「人権懇談会開催区数」に変更 R元年度実績 32区実施(38区申込:コロナウイルスにより6区中止) R2年度 実施中止					

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位		
人権同和教育促進事業		継続	4		
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5人権同和教育費・1人権同和教育費		人権同和教育課	1:無		
事業概要	・解放子ども会の運営				
投入指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	年度別事業費	317 千円	317 千円	317 千円	
	特定財源				
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	317 千円	317 千円	317 千円		
目的	同和地区の子どもたちが「差別を見抜き、差別を許さず、差別と闘う」力を身につけるとともに、仲間づくりを行う場としての解放子ども会を運営する。				
令和3年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会を開催し、差別に負けない子どもを育成する。</li> <li>・他の子ども会との交流を図り、多くの仲間づくりを行う。</li> </ul>					
活動目標	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	解放子ども会の開催回数(交流会含む)	回	31	31	31
特記事項					

事務事業名				新規・継続
人権同和政策総務費運営費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費				人権政策課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		4,244 千円	4,244 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		4,244 千円	4,244 千円	
事務事業名				新規・継続
人権同和政策総務費給与費				継続
会計・款・項・目				所管課
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費				人権政策課
投入 指標			令和3年度	令和4年度
	年度別事業費		22,636 千円	22,636 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円
一般財源		22,636 千円	22,636 千円	

